

第1回須賀小学校地域拠点施設整備推進委員会会議録

1 開催日時

令和6年9月10日（火）19:00～21:00

2 開催場所

進修館大ホール

3 出欠席者

（委員）

原田幸代副委員長、石井大晴委員、中村隆委員、上田悟委員、金野泰久委員、
谷義明委員、佐々木誠委員長、唐松奈津子委員、星野花恵委員、穴戸ゆみ委員、
川野達則委員、諸星香代子委員、斎藤夏未委員

（欠席）

荒木義雄委員

（町長、教育長 途中退席）

新井康之町長、中村敏明教育長

（事務局：町民生活課、子育て支援課、教育推進課）

新井庸一 町民生活課長、柴崎記代子 子育て支援課長、田中啓之 教育推進課長
小川雅也 教育推進課副課長、高橋道彰 教育推進課主査、嘉茂達哉 教育推進課指導主
事、埜中美也 教育推進課主任、須原大輔 教育推進課主事

（須賀小学校地域拠点施設基本設計業務委託受託業者）

株式会社東畑建築事務所 久保久志、門脇寛子、株式会社 Life Work 内海慎一

4 次第

1 開会

2 委嘱状交付

3 挨拶

4 自己紹介

5 会議の運営にあたっての確認事項

6 委員長・副委員長選出

7 須賀小学校地域拠点施設について

8 配置計画について

9 その他

10 閉会

5 議事（要旨）

（1）． 開会

委員長が決まるまで、田中教育推進課長が議事を進行。

（2）． 委嘱状交付

新井町長から各委員へ委嘱状を交付。

（3）． 挨拶

新井町長、中村教育長より挨拶。

・新井町長

みなさんこんばんは。宮代町長の新井でございます。

第1回須賀小学校地域拠点施設整備推進委員会の開催にあたりまして御挨拶を申し上げます。

ただいま皆様方に、施設整備推進委員会の委員として委嘱状を渡させていただきました。

お引き受けいただきまして本当にありがとうございます。

任期が施設整備完了までということで、長丁場になりますが、どうぞよろしく願いしたいと思います。

さて、町では須賀小学校地域拠点施設の再整備につきまして、令和4年度から進めてきておりまして、昨年までに基本構想・基本計画を策定しました。

いよいよ今年から設計に入っていくわけですが、皆様方からいただいたたくさんの御意見、本当に山のようにいただいた意見を集約したものが今、素晴らしい案としていくつか出てきております。

これからそれをさらにブラッシュアップしていただくことが皆様のお仕事でございますので、ワークショップ、教職員の皆様、議員の皆様、いろんな方から、もう一度お話を聞き、さらに煮詰めていきたいと思っています。

近隣では小学校と公民館機能、いわゆるコミュニティセンターを一緒にする施設は、なかなか近くにありませんので、皆さん想像できないところもあると思いますし、学校と地域拠点施設が一体化できるのかという不安もあると思います。

皆様方と一つ一つ解決していきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

皆様から開設に向けて、これからいろんな忌憚のない意見をお聞かせいただきまして、素晴らしい学校を作っていきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いします。

これで和戸地区が変わったねと言われるような一つのまちづくり、大事なことでございますので、本当にどうぞよろしくお願いいたします。

・中村教育長

皆さんこんばんは。紹介のありました、教育長の中村でございます。

今日は遅い時間にお集まりいただきましてありがとうございます。

町長の方からもありましたが、基本構想・基本計画の策定が終わりまして、基本設計ということで、より具体化した話が始まるということでございます。

なかなか近隣を見ましても、新しい学校をつくることはないので、私自身ワクワクしています。

生涯学習、それから地域拠点をいろいろな内容で、それから新しい時代という意味ではインクルーシブなどのそういう視点を持ちながら学校をつくっていくこと、ひょっとするとゼロカーボンなども考えながらつくっていく学校なのかなと思っています。

そういう意味では、いろいろな方からアイデアをいただき、地域に誇れる良い学校ができたねというような建物に、ぜひしていきたいと思います。

学校は子供たちのためのものなんですけれども、今度の学校は地域のためのものでもあるわけですので、そういった素晴らしい拠点施設になるといいなと思っています。

そのためには、皆様方からのいろいろなアイデアや考えをいただいて、私もこういう考えを持ってるってあるんですけども、それはどっちかという学校に偏ってしまうので、いろいろと調整をとらないと難しいということだと思っています。

ぜひ、皆様方からですね、忌憚のないご意見をいただきながら、お互いに歩み寄りいただいて、煮詰めていただいて、良い施設ができるようにご協力をいただければと思います。

町長からもありましたけど、長丁場になると思いますけれども、ぜひとも、ずっと意欲を維持していただいて、学校づくり、拠点施設づくりに御協力いただければありがたいと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。

(4) . 自己紹介

名簿順に自己紹介。

(5) . 会議の運営にあたっての確認事項

任期については地域拠点施設の開設まで。

委員会の開催頻度について、今年度は3～5回ほどを予定。

開催時期は平日の19時からを予定。出席委員了承。

日程調整についてはメール・電話にて調整を実施。

謝金の支払先を登録していない方は、教育総務担当まで提出を。

委員会については原則公開になり傍聴者が入る場合がある。

会議録については町HP・町役場情報公開コーナーにて公開。

(6) . 委員長・副委員長選出

自薦・他薦がなく事務局から委員長・副委員長について提案をした。佐々木誠委員を委員長、原田幸代委員を副委員長に推薦。出席委員承認。

(7) . 須賀小学校地域拠点施設について

須賀小学校の地域拠点施設について事務局より「当日スライド1」に基づいて説明後、以下のような質疑及び意見があった。

上田委員：施設の開設時期が令和9年4月1日だと認識していたが、開設時期は遅れるのか。また、開設時期はいつか、はっきりしてほしい。

事務局：昨年度の検討委員会で検討していた段階では令和9年4月1日の開設を目指していましたが、その後の県との開発協議等を踏まえて、令和9年度内での開設を目指すことで進めています。

今後の設計の中で、現実的なスケジュールをあらためて検討していきます。

上田委員：はっきりしないと、引っ越し等、学校現場は大変なことになる。

事務局：引っ越し等もありますので、須賀小学校へは相談をさせていただいている状況ですので、御理解をいただければと思います。

(8) . 配置計画について

配置計画について、受託業者東畑建築事務所から「当日スライド2」に基づき以下のとおり説明。

説明後、3グループに分かれてワークショップを実施

各グループからの意見概要は以下のとおり

・1グループ

A案とB案がどちらも良いとの意見が多かった。

共通の意見として、中学校のことは考慮しないのか、スポーツできるグラウンドを確保できているか、学童保育の時間外に未就学児が利用できるといい、部活動はどうなのか、体育館小さいのでは、PTAと事務が同じ部屋だとせまい。

C案は厳しいとの意見が多かった。

A案は防風林が良いが、デメリットとしては住民のアプローチが体育館の裏側になる、放送室が1階なのはどうか。

B案は意外に悪くないのではとの意見もあった。

A案とB案を融合できればよいのでは。

・ 2 グループ

A 案が良いとの意見が多かった。

良いところとして、子どもたちの導線が良い、体育館へも 2 階から接続できる、外からのアクセスにおいて子供の登校と車道が分かれている。

防風林の話が出て、防風林の成長も踏まえて校庭の砂を改善することも良いのではとの意見があった。

A 案・B 案を比較したとき、A 案は体育館と地域施設が近いのが良いとの意見があった。

C 案はかえでを切ること、移動の難しさから厳しいとの意見があった。

・ 3 グループ

A 案が良いとの意見が多く、安全面が良いとの意見があった。

学童の場所を日中、子育てサロンなどの子育て支援に使えるとよいとの意見があった。

ひろばが 1 か所だけではなく、大小さまざまあるのが良いとの意見があった。

悪い点として、テラスがあるのは良いが、安全面に気を付けてほしい。

A、B 案共通で学童が端なのが良く、駐車場も近いのが良い。

車の導線としては、町道 7 4 号線の道の安全面が心配。

バリアフリーは検討されているのか。

和戸方面からは北側からのアクセスになるため、考慮してほしい。

防災の面からも 2 階に直接あがれる昇降口があると良い。

イメージとしては笠原小。

中学校とのつながりの面からは C 案もよいが、歩車分離が難しいのが厳しい。

誰でも入れる、用事がなくても入れる場所が欲しい。

楽しめる遊具がほしい。

防災について、全体的に検討してほしい。

(9) . その他

・ 事務局

次回の整備推進委員会では、引き続き情報共有をさせていただきます。

(10) . 閉会

予定していた議事を終了し、閉会。

以上